

2025年度食用油の原材料に関する公開質問 2025年8月

分別：非遺伝子組み換え、不分別：遺伝子組み換えと非遺伝子組み換えを分けていない

メーカー名			日清オイリオグループ株式会社		株式会社J-オイルミルズ		昭和産業株式会社		理研農産化工株式会社	
質 問 1	商品名		日清キャノーラ油	日清サラダ油	AJIMONOTOさらさら キャノーラ油	AJIMONOTO健康プラス	キャノーラ油	サラダ油	一番搾りキャノーラ油	サラダ油
	原材料／原産国		ナタネ／主にカナダ、 オーストラリア	大豆／主にアメリカ、 ブラジル ナタネ／主にカナダ、 オーストラリア	ナタネ／主にカナダ、 オーストラリア	ナタネ／主にカナダ、 オーストラリア 大豆／主にアメリカ、 ブラジル	ナタネ／カナダ、オー ストラリア他	ナタネ／カナダ、オー ストラリア他 大豆／アメリカ、ブラ ジル他	ナタネ／カナダ、オー ストラリア等	ナタネ／カナダ、オー ストラリア等 大豆／アメリカ、ブラ ジル等
	遺伝子 組み換 え	分別								
		不分別	○	○	○	○	○	○	○	○
	使用開始時期		1997年	1997年	J-オイルミルズ発足当初より（2004年）		1997年	1997年	1997年	1997年
質 問 2	遺伝子組み換え原材料を使用し ている製品に関して、今後、非遺 伝子組み換えのものに切り替える予 定の有無とその理由		無		無		無		無	
			現状を変更する予定はありません。		お客様への製品の安定供給を考えると、非遺 伝子組み換え農産物では油脂原料として安定 した数量の確保が現実的に困難なため。		製品の安定供給のための原材料の安定調達 が困難であると考えており、非遺伝子組み換 えの原材料に変更する予定はありません。		原料の安定調達、製品の安定供給等の寒天 から困難と思われ、現段階で変更の予定はあ りません。	
質 問 3	分別生産流通管理済みの原材料に ついて、その表示をする予定		現状、表示をする予定はありません。		現時点では表示する予定はありません。		弊社では該当する製品は製造、販売しており ません。		予定ありません。	
質 問 4	遺伝子組み換えでない原材料の製 品を供給するための課題		原材料の安定調達、製品の安定供給の観点か ら、当該原材料を調達することは、困難である と考えております。		お客様への製品の安定供給を考えると、油脂 原料として、非遺伝子組み換え農産物の安定 した数量を確保することが必要と考えます。		製品の安定供給のための原材料の安定調達 が困難な点だと考えます。		原材料の安定調達、製品の安定供給が困難と 考えます。	
質 問 5	ゲノム編集由来の原材料が入手可 能になった場合の使用について		引き続き、安全性を含め国内外における開発・ 届け出状況を注視して参ります。		安全性を考慮し慎重に対応すべきと考えてお り、今後の動向を注視しながら検討いたしま す。		現時点で取り扱い予定はありませんが、方針 は決めておりません。引き続き安全性に関す る情報や開発動向を注視してまいります。		今後も状況を注視して参ります。	
質 問 6	気候変動等により原材料の調達で 最も課題となっていることについ て		原材料産地の気象パターンの変化（気温上昇、 降水量変化等）により、原材料の発育に悪影響 を与え、原料の生産量が減少したり、品質が悪 化するリスクが高まっています。また、バイオ 燃料の利用拡大により、国際市場における食料 価格が高騰する傾向が見られます。さらに気候 変動が海外からの穀物の会場輸送ルートである 運河の通航規制につながるなど、物流にも影響 を与えるリスクがあります。		干ばつなどの天候不順により、原材料の生産 量減少と、それに伴う価格高騰のリスクがあ ります。また、高温により原材料の油分が低 下するなど品質変化が起きた場合、製品の安 定供給に必要な量を確保できない恐れがあり ます。物流においては、原産国における干ば つや紛争により輸送インフラの脆弱性が安定 した供給を阻害する一因となることが懸念さ れます。		近年の異常気象による収穫量の減少リスクが 高まっている一方で、世界的な食糧需要の増 加やバイオ燃料へ利用拡大などが課題になっ ている認識です。		気候変動に伴う油脂原料の収穫量の変動や品 質の変化に関して懸念がもたれます。また、 世界の人口増加、バイオ燃料としての利用に よる需要増大、価格高騰の傾向にあります。	
質 問 7	搾油後の油粕や搾油中に出る副産 物の使用について		飼料、肥料、工業用原料、食品添加物の原料な どに利用されます。		油粕は、肥料や飼料として利用しています。 食用油の精製工程で分離されるレシチンやト コフェノールは食品添加物、脂肪酸はボー ラーの燃料用途で利用しています。		肥料や家畜の飼料、燃料、ビタミン原料な ど、ほとんどの副産物は有効に活用されてお ります。		搾油後の油粕については、主に資料、肥料と して利用されます。	
質 問 8	産地農場から輸出港、輸入港、製 造工場までの原材料の管理・輸送 方法について		農家から集められた原材料は、各地域の集積所 を経由し港湾サイロに運び、そこから大型のバ ルク（ばら積み）貨物線で輸送します。なお、 原材料によっては、栽培地域で製造された原料 油を貨物船で輸送することがあります。		原産国の輸出港から船で日本に入り、弊社工 場サイロもしくは委託サイロに入荷します。		農家で生産された原材料は、地域の集積所、 港湾のサイロを経由し、貨物船にバラ積み輸 送され、当社の製造工場に隣接したサイロに 入庫します。		生産国の農家で生産された原材料は、各地の 集荷施設を経由し港湾の積出施設に運ばれ貨 物船で輸送、弊社工場にはトラックで輸送し ます。	
質 問 9	原材料ト レーサビ リティに ついて	主原料の出荷記録の保存	有		有		有		有	
		製品の出荷記録の保存	有		有		有		有	
		製造及び入出荷の各ロットの 対応付け記録の保存	有		有		有		有	

●非遺伝子組み換え原材料のみを使用していると公表しているメーカー

質問1	メーカー名		平田産業有限会社		米澤製油株式会社	
	商品名		国産なたね油	純正菜種油一番搾り	国産100%なたね油	圧搾一番しぼりなたねサラダ油
	原材料／原産国		ナタネ／北海道・青森・福岡・佐賀	ナタネ／オーストラリア	ナタネ／北海道、青森他	ナタネ／オーストラリア
	遺伝子組み換え	分別	○	○	○	○
		不分別				
使用開始時期		2011年	1999年	1990年代	1990年代	
質問2	非遺伝子組み換え原材料を使用している製品に関して、今後、遺伝子組み換えのものに切り替える予定の有無とその理由		無		無	
			弊社は非遺伝子組み換え菜種を原料とした菜種油専門メーカーです。		安全性や環境への影響を考慮し、遺伝子組み換え原料は使わない方針を変更する予定はないから。	
質問3	非遺伝子組み換え原材料の調達に関する昨年との変化について		現状、調達量においては問題ありませんが、原料価格は若干ですが上がり基調となっております。		オーストラリアで収穫される菜種の遺伝子組み換え比率が急速に高まっている。	
質問4	遺伝子組み換えでない原材料の製品を供給するための課題		遺伝子組み換えでない原料をいかに安定供給するか、だと思います。遺伝子組み換えでない原料の生産には遺伝子組み換え原料の生産に比べコストがかかります。そのため一般製品と比べて高くなりますが、消費者の方々のご理解とご購入によって、需要と供給のバランスが成り立ち、その安定したサイクルが、遺伝子組み換えでない原料の生産つながり、原料の安定供給につながります。		遺伝子組み換えでない原材料を使用した製品の消費を維持もしくは増やすこと。需要がなければNon-GM原料はそもそも生産されないし、需要が少なくなればGM原料に対するプレミアウが高くなり、製品価格も上がってしまう。	
質問5	気候変動等により原材料の調達で最も課題となっていることについて		異常気象の影響なのか、オーストラリアでも州によって乾燥状態が続き、収穫量の減少は大きな問題となっております。		Non-GM菜種の価格（相場の高止まり、GM菜種との価格差、円安）	
質問6	搾油後の油粕や搾油中に出る副産物の使用について		肥料や家畜の飼料として販売しております。		肥料・飼料・バイオ燃料	
質問7	ゲノム編集由来の原材料が入手可能になった場合の使用について		遺伝子組み換えと同様、ゲノム編集作物についても使用することは考えておりません。		ゲノム編集由来の原材料の安全性や環境への影響が明確なっていないと思われるから。	
質問8	産地農場から輸出港、輸入港、製造工場までの原材料の管理・輸送方法について		現地にてコンテナに菜種を詰めて施錠、弊社工場まで開封することなく輸送します。IP証明書などにより、遺伝子組み換え作物でないこと確認しております。		国産菜種：生産地で農家または集荷業者がフレコンバッグ等に詰めたうえで、弊社にトラックで入庫（国産菜種は遺伝子組み換え品種の商業栽培は無い） 豪州産菜種：農家が圃場ベースでGM/Non-GM品を分けて菜種を生産。集荷業者のサイロにてGM/Non-GM品を分けて保管。複数回の検査を経て、輸出用のコンテナへ詰め替え。船にて日本へ入港。港でフレコンバッグに詰め替えてから弊社にトラックで入庫。	
質問9	原材料トレーサビリティについて	主原料の出荷記録の保存	有		有	
		製品の出荷記録の保存	有		有	
		製造及び入出荷の各ロットの対応付け記録の保存	有		無	
					※弊社が使用する原料は、全て遺伝子組み換えでないまたは混入防止管理済み菜種、工場内に遺伝子組み換え菜種は無い。	